

オスプレイ配備強行 全国での低空飛行訓練 断念を!

沖縄でも本土でも反対の声



3月5日、山口県岩国市での緊急抗議集会には約90人が駆けつけました

オスプレイが低空飛行訓練！

沖縄県民の意思を無視して配備された米軍の欠陥機オスプレイが3月6日、本土での低空飛行訓練を強行しました。山口県の岩国基地を拠点に、四国、和歌山の低空飛行訓練ルートで。関係自治体に通告したのはなんと前日でした。

自治体もこぞって反対

「県民の不安が払拭されていない」（徳島県知事）、「説明がなく納得できない」（和歌山県知事）、「何といっても事故が心配」（高知県知事）一など、関係自治体はこぞって反対しています。

沖縄県民と国民の意思や安全よりも、アメリカいいなりで危険なオスプレイの配備や訓練を強行する。これが安倍首相の政治です。

安倍さん、アメリカ
言いなりひどすぎます



日本はまるで植民地

米軍機の低空飛行訓練は、全国各地で爆音や衝撃波、墜落事故など、深刻な被害をもたらしています。その上、墜落の危険の高いオスプレイを低空飛行させるなど、とんでもないことです。ドイツでもイタリアでも、米軍が低空飛行するためには当事国の許可が必要です。ところが日本では、米軍機は勝手にどこででも訓練できる——まるで植民地です。

沖縄と全国が一つに

沖縄県民の願いは危険なオスプレイの配備撤回であり、「本土への訓練移転」ではありません。沖縄と全国の人々が連帯し、「オスプレイも低空飛行訓練もノー」「アメリカいいなりの政治はノー」の声をあげましょう！

日本平和委員会

2013年3月発行
一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです
<http://j-peace.org/>
東京都港区芝1-4-9平和会館4階
TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277